

核物質防護に関する不適合情報

2025年2月3日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、ケーブルの断線が原因であったことから、当該破損ケーブルを交換し保護カバーを取り付け、正常な状態へ復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/11/16	
2	核物質防護業務で使用する一部のパソコンで、サイバー対策として、社内ルールで規定されているUSB、LANポートの閉塞措置が実施されていないことを当社社員が確認したため、速やかに閉塞措置を実施した。 調査の結果、鍵のかかるキャビネットで管理されていたことで、閉塞措置が不要と勘違いしていたことが原因であったことから、関係者に対して、正しい保管方法について再教育・再周知を実施した。 なお、当該パソコンからの情報の流出等は確認していない。	2024/11/8	
3	当社社員が、点検作業中に誤って侵入検知器の一部に接触したことで、部品が外れたことを確認したため、速やかに仮処置を実施し、正常に動作することを確認した。その後、当該破損部品を交換し、正常な状態へ復旧した。	2025/1/16	

4. 公表区分その他 5件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の障壁の一部に破損を確認した。 調査の結果、腐食によるものであったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/7/19	
2	核物質防護上の扉の一部機能が正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/7/26	
3	核物質防護上の扉における認証装置が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/10/8	
4	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2025/1/8	
5	監視カメラの洗浄機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2025/1/20	